

小松マテーレ株式会社
個人投資家向け
オンライン会社説明会

証券コード：3580

代表取締役社長　中山大輔

2025年9月3日(水)

Art in Technology
komatsumateRe

©KOMATSU MATERE CO.,Ltd.



目次

Ⅰ. 会社概要

Ⅱ. 当社の強み

Ⅲ. 業績状況

Ⅳ. 中期経営計画

Ⅴ. 株主還元

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.



Ⅰ. 会社概要

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅰ-1. 会社概要





業　種：繊維の染色加工技術を基盤とした
　　化学素材メーカー

本　社：石川県能美市浜町ヌ167番地

設　立：1943年10月8日

代表者：代表取締役社長　中山 大輔
　　（2024年6月～）

株　式：東証プライム市場

資本金：46億8千万円

売上高：395億円（2025年3月期）

社員数：1,203名(連結)

・連結子会社　国内5社、海外1社
・持分法関連企業　2社

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅰ-2. 会社概要 「事業所所在地」

本社・製造部

石川（能美市・白山市）





石川・本社製造部

営業所（2か所）
ショールーム（1か所）

東京（南青山）

大阪（梅田）





東京・東京営業所



東京・青山ショールーム

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅰ-3. 会社概要　「当社80年の歴史」

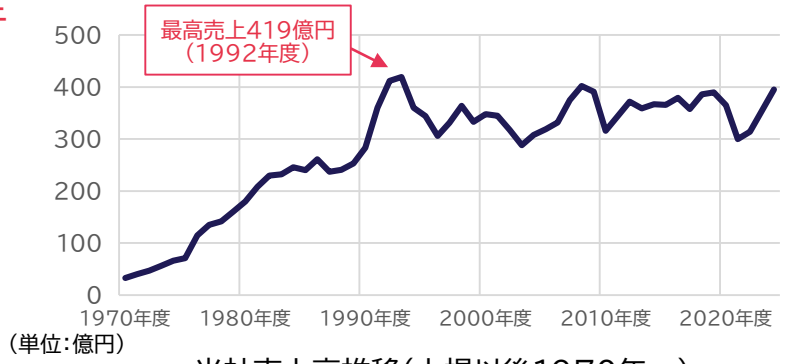
1943年 「**小松織物精練染工**」を設立
1963年 「**小松精練**」に社名変更
1970年 大証二部上場
1973年 販売課新設（自販事業開始）
1980年 東証一部上場
1999年 市場開拓室 新設（海外自販事業開始）
2013年 第5回PVアワードグランプリ受賞
2015年 ファブリック・ラボラトリー「fa-bo」完成
2018年 創立75周年を機に「**小松マテーレ**」に社名変更
2020年 BtoC（一般消費者向け）事業へ本格参入
2021年 ファクトリーショップ「mono-bo」オープン
サステナブルブランド「mate-mono」上市
2022年 プライム市場へ移行
2023年 創立80周年


小松マテーレ旧社屋＝石川県小松市


ファブリック・ラボラトリー「fa-bo」

komatsumateRe

社名の「マテーレ（mateRe）」は、素材・原材料を意味する「material」に、繰り返す・再びという意味をもつ「Re」を組み合わせた造語。
　繊維加工メーカーから“化学素材メーカー”へ進化し、新技術・新素材を繰り返し生み出していく決意を込めています。



当社売上高推移（上場以後1970年～）



当社株価推移（直近15年）

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

小松マテーレが企業活動を遂行するにあたって最も基本的な姿勢を示した
価値観であり、全ての活動の指針とするものです。
ここに掲げた三つの理念をもとに、私たちは“驚き”と“感動”があふれる
素材を創造し続ける「化学素材メーカー」を目指します。

小松マテーレは
人々の感動を創造します

小松マテーレは
地球・社会に貢献します

小松マテーレは
社員と共に成長します

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

コーポレートスローガン「 Art in Technology 」

Art in Technology
komatsumateRe

「Art in Technology」＝「美しい技術」

このコーポレートスローガンは、「技術と感性の融合」と**「芸術の工業化」**という2つの基本コンセプトを集約して生まれました。

ブランドロゴ

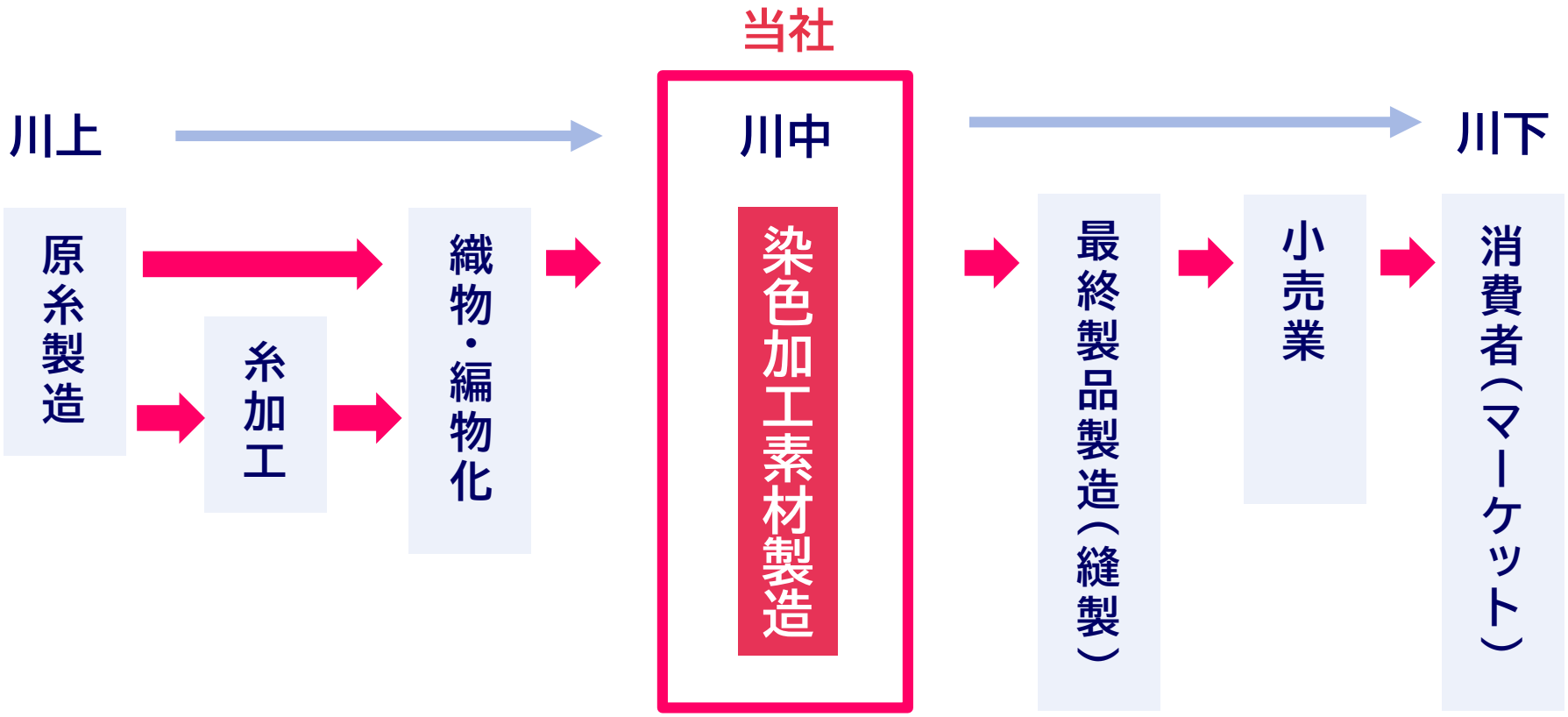
komatsu

日本一の象徴である**“富士山”**をモチーフとし、「**一番の技術力**」と「**一番の品質**」で**世界へ挑むブランド**を表現しています。



©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅰ-6. 会社概要 「繊維事業における当社の位置づけ」



加工素材：合成繊維（ポリエステル、ナイロン等）

加工規模：**約2億m²／年（地球約5周分）**

シェア（染色加工）：国内シェア**14%**　織物では**33%**



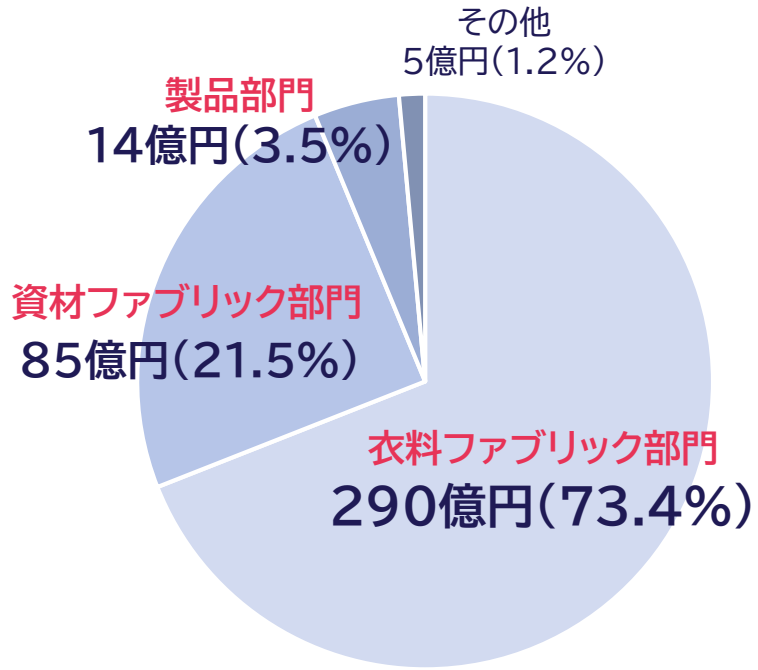
◀ポリエステル



◀ナイロン

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

2024年度 売上高 395億円

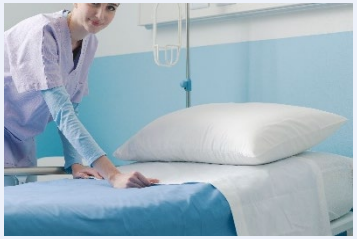


製品部門





資材ファブリック



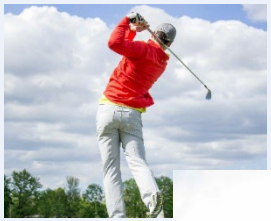






衣料ファブリック









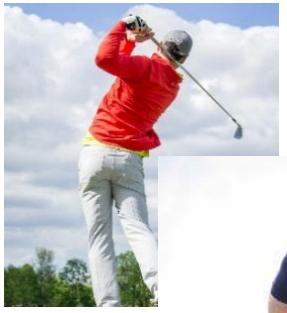
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

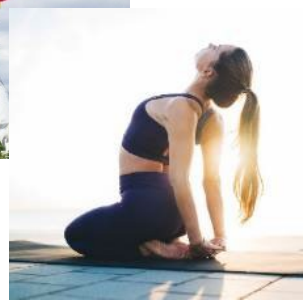
衣料ファブリック

ファッション



スポーツ・機能



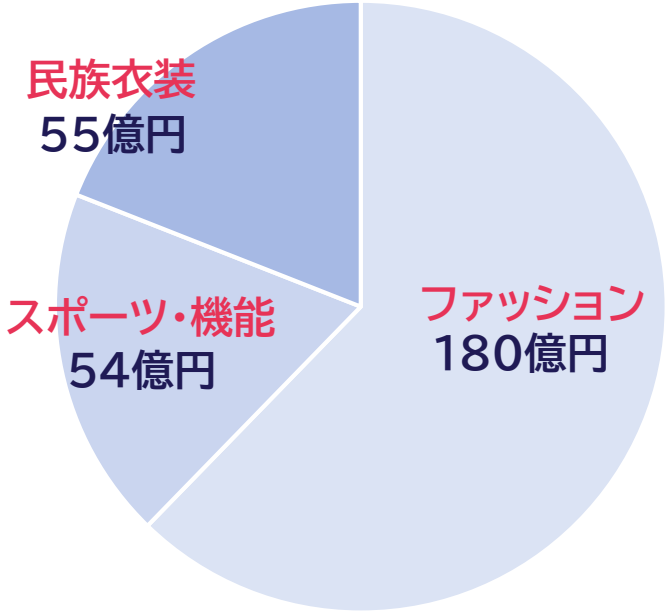


民族衣装



トーブ(中東民族衣装)の
世界シェア **約24%**
KOMATSUブランドは
信頼の証として現地で浸透

2024年度売上高　290億円



素材採用事例



BEAUTY&YOUTH

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

資材ファブリック

生活関連資材





リビング





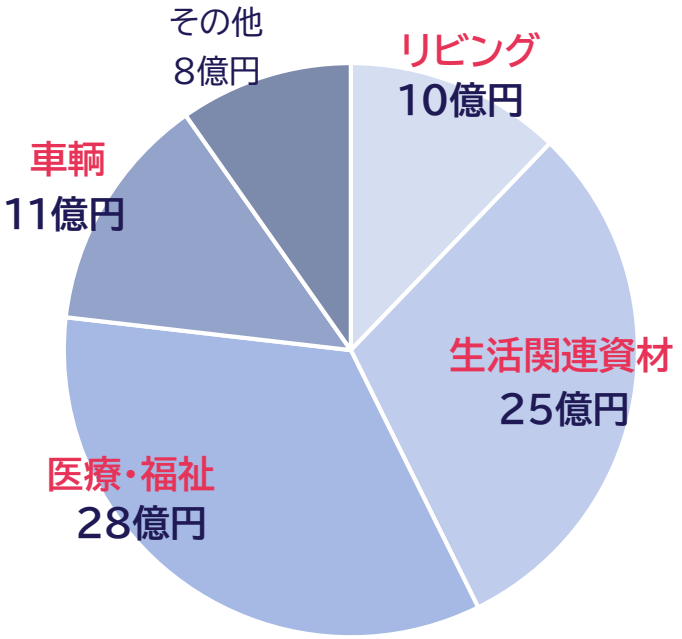
車輌



医療・福祉



2024年度売上高　85億円



素材採用事例



当社 Higassan(日傘)
紫外線遮蔽率、遮光率99%以上で、140gの軽量



LIXIL バストープ(布製浴槽)

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

製品部門　2024年度売上高　14億円

世界最軽量

2025年2月より
当社グループへ

mate-mono



KONBU



Makuake
Of The Year
2023受賞！



天女の羽衣



NSKエコーマーク



販売拠点



mono-bo (石川県･能美市)

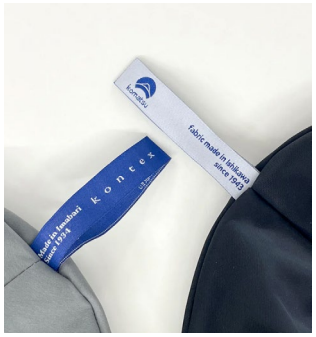


まてーれ (石川県･金沢市ひがし茶屋街)

コラボ商品一例



ニッコー



今治タオル

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅰ-11. 会社概要　「海外売上比率」

※ 海外売上高に占める各地域の売上割合

2024年度

売上高

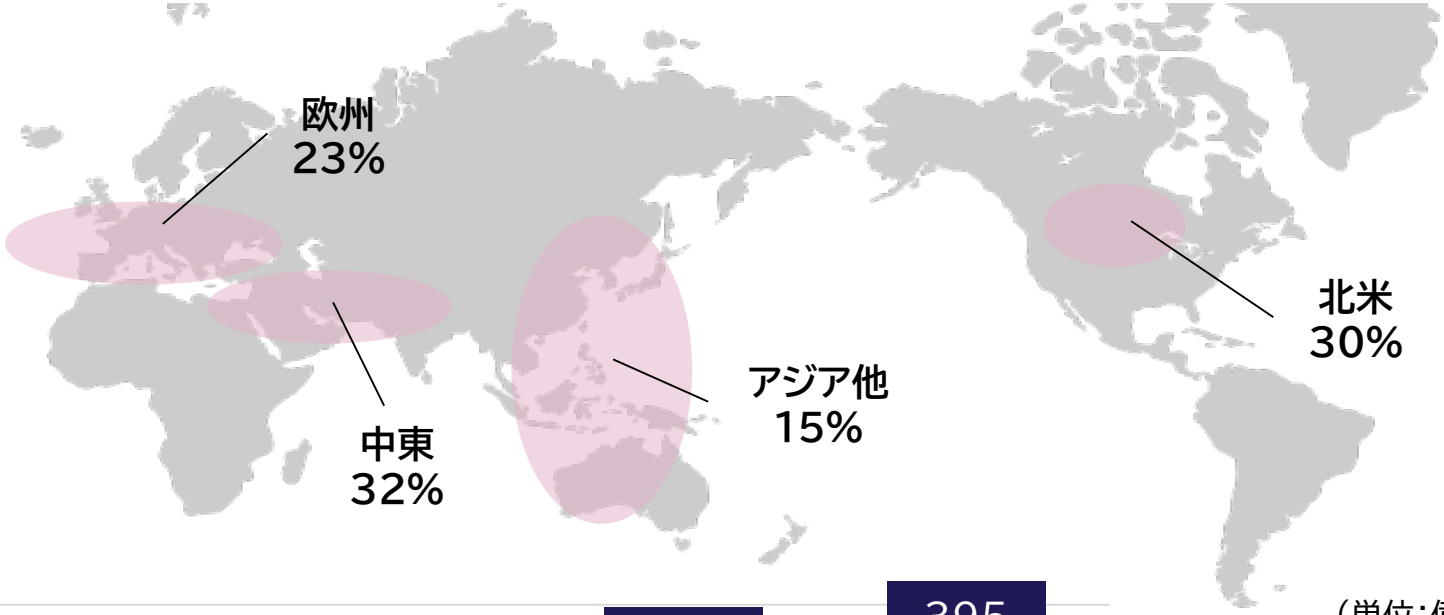
395億円

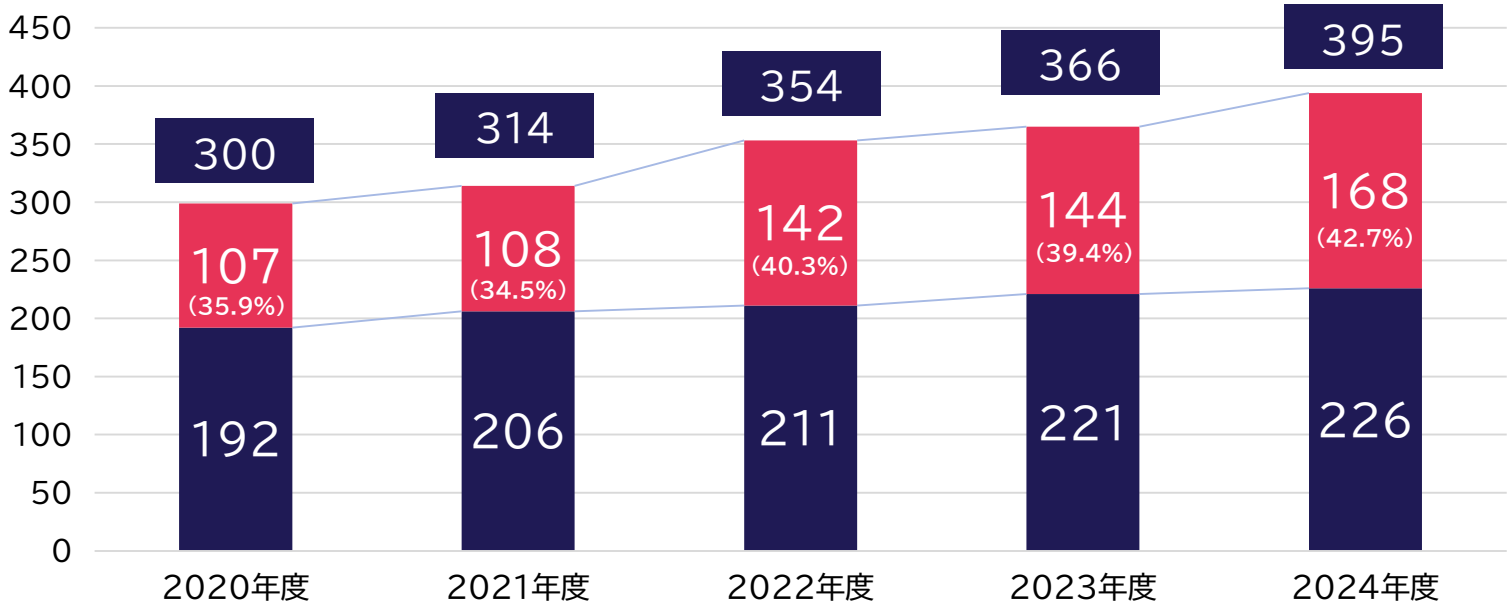
海外売上高

168億円

海外売上比率

42.7%





（単位：億円）

海外

対前年+23

（16.5%増）

国内

対前年+4

（2.1%増）

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.



Ⅱ. 当社の強み

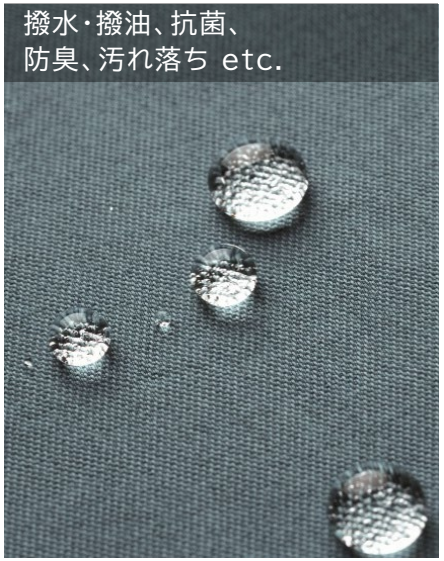
©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

感性 ＋ **機能**

染色 / 風合い変化 / 改質加工 / 造膜加工









技術と感性の融合

Art in Technology

～芸術の工業化～

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅱ-2. 当社の強み 「オリジナリティが生まれる現場の力」



技術研究

“新しい”を創造する
小松マテーレの中枢



生産管理

創業以来培ってきた
加工技術の応用



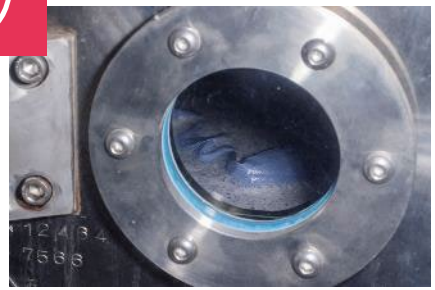
素材開発

匠の技がもたらす
クリエイティビティ



エンジニアリング

時代の進化へと導く
高度な技術力



©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅱ-3. 当社の強み 「環境配慮素材ブランド　mateReco®」

環境配慮型素材の総合ブランド

mateReco®

マテレコ

MATERIAL
原料

環境に優しい
原料を使用

PROCESS
工程

環境負荷の
少ない製造工程

PRODUCT
製品

サステナブルな
素材・製品

素材例

Onibegie®

天然成分配合ファブリック
オニベジ



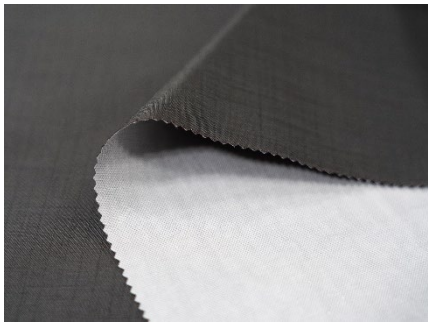
他社との共同事業

「Brewed Protein™」
プロテイン素材プラットフォーム

Spiber



「PlaX™」
植物由来の次世代合成繊維
Bioworks株式会社



※「Spiber」は、日本およびその他の国におけるSpiber株式会社の商標または登録商標です。「Brewed Protein™」は、日本およびその他の国におけるSpiber株式会社の商標または登録商標です。「Plax™」はBioworks株式会社の商標です。

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅱ-4. 当社の強み 「環境共生素材① グリーンビズ」

当社では染色排水の浄化過程で発生する汚泥を、これまで産業廃棄物として処理しておりました。
グリーンビズは、その汚泥を何とか再利用できないかとの思いから生まれた、発泡セラミック素材です。

多孔質セラミックス素材

「 greenbiz® グリーンビズ」

優れた断熱性・通気性・透水性・保水性が特長。



透水性
保水性

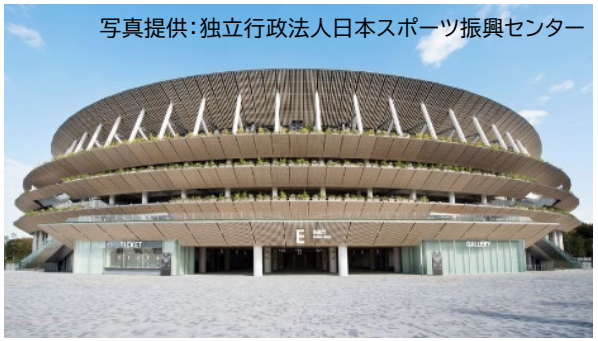
断熱性
耐紫外線

不燃性

吸音性

耐経年劣化

施工事例



国立競技場　外構用ブロック



石川県立図書館

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅱ-5. 当社の強み 「環境共生素材② カボコーマ」

軽い、強い、錆びない等、炭素繊維の高い性能を生かした素材。
現在、大型鉄骨建屋補強の新工法について、2026年夏ごろの評定の取得を目指しています。

炭素繊維複合材料 「 CABKOMA® カボコーマ・ストランドロッド 」





軽量
（鉄の1/5）

引張に強い

錆びない

硬化後も
熱変形可能

耐久性に
優れる

温度による
寸法変化が
少ない

施工事例（耐震補強）



当社 工場（天井）





富岡製糸場　西置繭所
（群馬県富岡市／2019年）

施工事例（その他）



当社 ファブリックラボラトリー
「fa-bo」



昇降式の駅ホーム柵



大阪・関西万博 NTT パビリオン
航空写真（提供：奥村組）

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

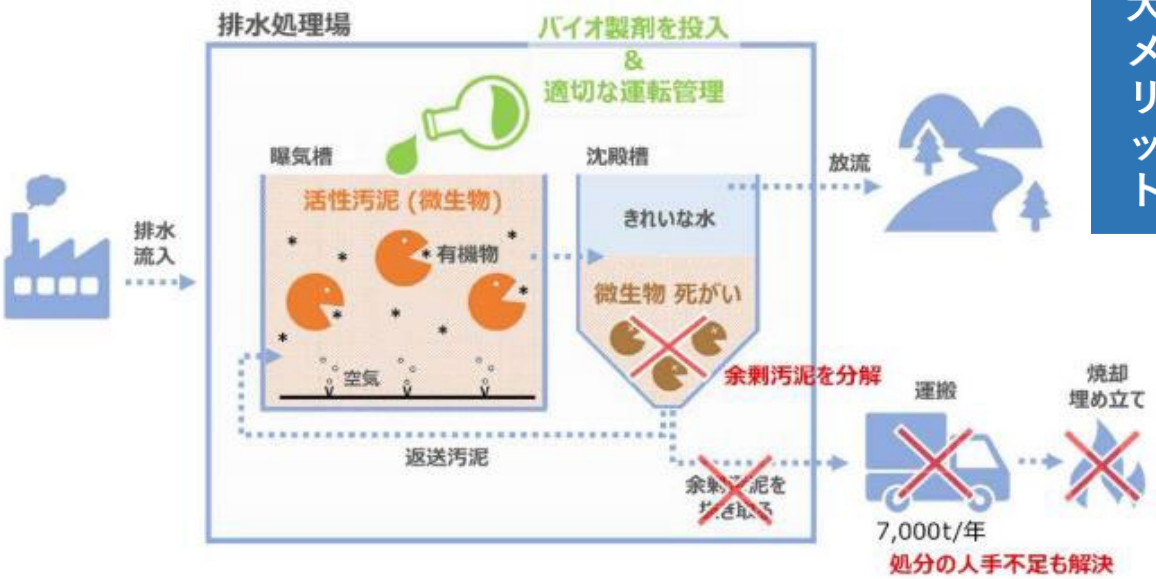
Ⅱ-6. 当社の強み 「環境共生素材③ ベリフォーマー」

「いしかわエコデザイン賞大賞」受賞！

国内の自治体や工場等、
採用件数増加中

汚泥減容化バイオ製剤 「 Bellefomer® ベリフォーマー」

**ベリフォーマー由来の分解酵素により、
排水をきれいにするために必要な微生物を一定量維持しつつ、余剰汚泥のみを無くす画期的な技術**



5大メリット

- 汚泥処理費用　最大40%削減！
- 廃棄物を大幅に削減！
- 設備の追加・改造が不要！
- 化成品不使用！
- 処理水質良化！



余剰汚泥
100%
削減※

※当社事例：使用5か月で年間4,300t⇒0t

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.



Ⅲ. 業績状況

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅲ-1. 業績状況「2024年度 決算 財務ハイライト」

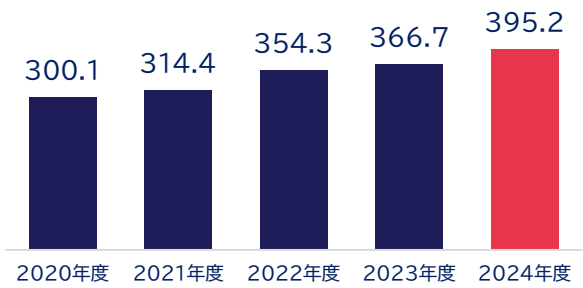
売上高

（単位：億円）

395.2億円

前期比

7.8%増



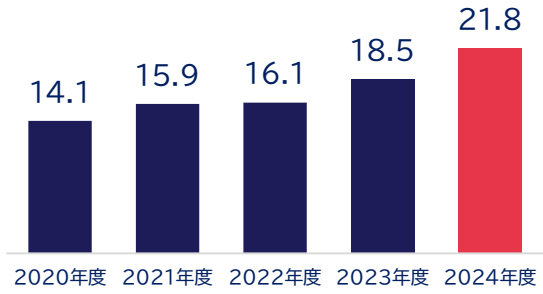
営業利益

（単位：億円）

21.8億円

前期比

17.5%増



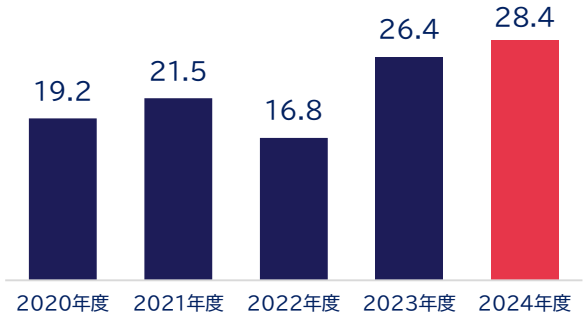
経常利益

（単位：億円）

28.3億円

前期比

7.4%増



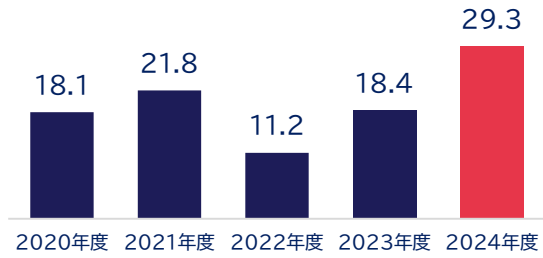
親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：億円）

29.3億円

前期比

59.2%増



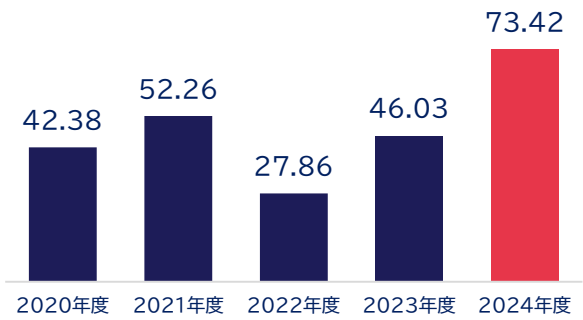
1株当たりの当期純利益

（単位：円）

73.42円

前期比

27.39円増



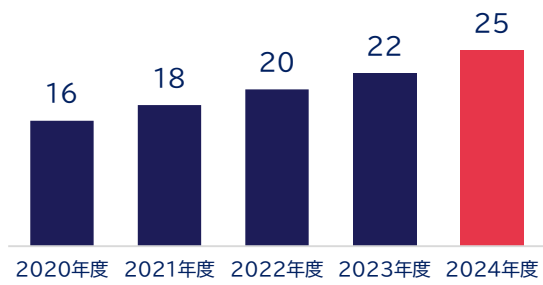
1株当たりの年間配当金

（単位：円）

25円

前期比

3.0円増



©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅲ-2. 業績状況「2025年度　業績見通し」

（単位：億円）

項　目	2024年度 実績	2025年度 上期予想	2025年度 下期予想	2025年度 通期予想	増減（通期比較） 金額	増減（通期比較） 増減率（%）
売上高	395.2	200	210	410	14.7	3.7
営業利益	21.8	8.5	13.5	22	0.2	0.9
経常利益	28.3	11	16	27	△1.3	△4.9
親会社株主に帰属する当期純利益	29.3	8.5	12.5	21	△8.3	△28.4

一株当たり当期純利益	73.42円	52.99円
期中平均為替レート	USD 152.62円	145.00円
	EUR 163.88円	153.70円

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.



Ⅳ. 中期経営計画

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅳ-1. 中期経営計画　「基本方針と重点課題」

2024年度を初年度とする新たな3か年の新中期経営計画「KFW-2026」がスタート

KFW-2026 スローガン

Art in Technology

技術と感性で人々と社会をより豊かに

事業領域

1. 海外事業の拡大
   ファッション衣料と非衣料分野
2. 小松マテーレ式
   サステナブル
   商材・事業の推進
3. 製品事業の推進

基盤強化

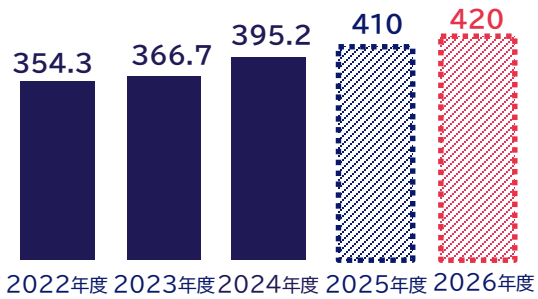
4. 人材育成の強化と
   エンゲージメントの向上
5. 製造環境の整備、
   福利厚生面の充実

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

連結財務ハイライト

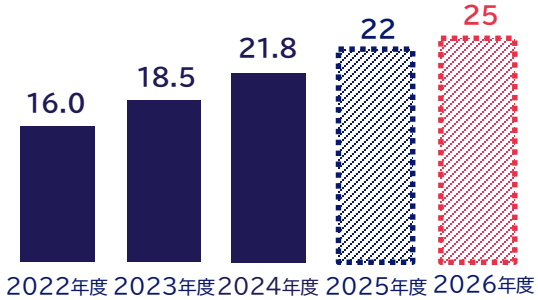
売上高
420 億円

（単位：億円）

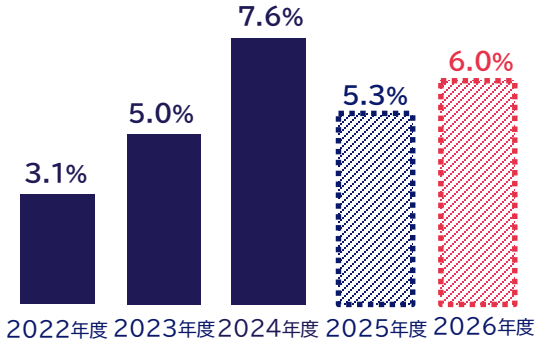


営業利益
25 億円

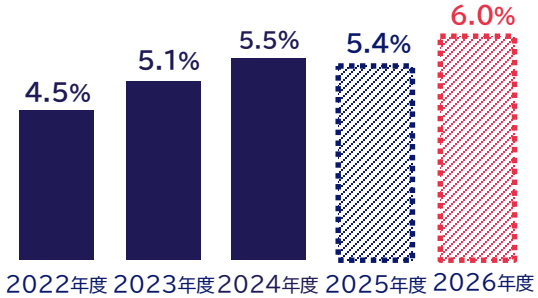
（単位：億円）



ROE
6.0%

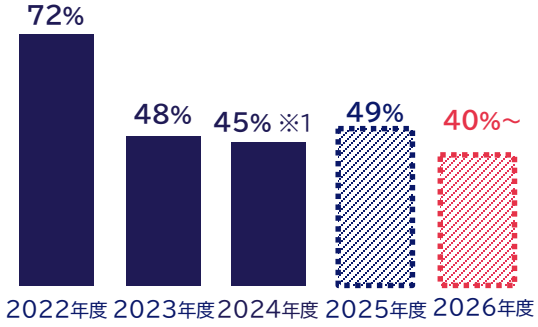


営業利益率
6.0%



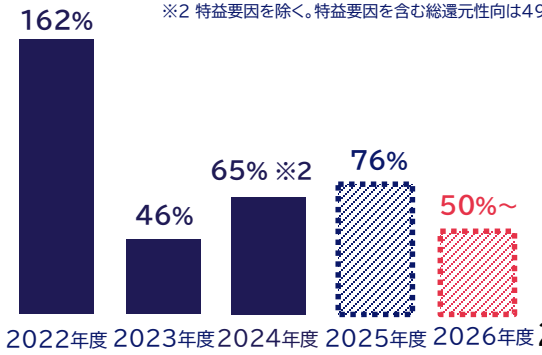
配当性向
40%～

※1 特益要因を除く。特益要因を含む配当性向は34%



総還元性向
50%～

※2 特益要因を除く。特益要因を含む総還元性向は49%



©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅳ-3. 中期経営計画　「重点事業領域の課題」

①海外事業の拡大（目標：海外売上比率43%）

欧・米・中東・アジアの取り組みを更に強化

グローバルマーケティング＆セールスチーム（GMST）を設け、
青山ショールームを拠点とし、さらに海外の営業拠点の設置も視野に。




生地の世界最高峰の展示会「ミラノウニカ」での展示会に出展

②マテーレ式サステナブル商材・事業の推進（目標：マテレコ売上比率40%）

サステナブルだけでなく**高感性も兼ね備え驚きと感動を与える事業・商品を創造**

mateReco®

テキスタイル でのサステナブル



建材 でのサステナブル



汚泥減容化バイオ製剤

③製品事業の推進（目標：売上17億円）

「toC」素材の感動をダイレクトに発信



ファクトリーショップ
mono-bo



まてーれ
金沢ひがし茶屋街



mate-mono
青山ショールーム



mono-bo
通販サイト

「toB」製品・半製品ビジネスの推進





お客様の不要になった衣料を染め替えて、ヴィンテージ風加工にリメイクして販売する循環型ビジネス

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

④人材育成の強化とエンゲージメントの向上

人的資本の拡充に向けた3つの優先課題

1. 人材開発
2. 柔軟な働き方の推進
3. 多様性・共生・尊重

⑤製造環境の整備、福利厚生面の充実

効率的で働きやすい作業環境

DX化による業務プロセス革新・効率化

指　標	2023年度実績	2026年度目標
社員一人当たりの研修費用	1万円	4万円以上
新卒者における離職率 （入社3年以内）	11.1%	10%以下
年次有給休暇の取得率 取得日数／付与日数(※) (※)繰越日数を除く最大20日	40.4%	70%以上
障がい者雇用率	2.3%	3%以上
男性の育児休職取得率	23.1%	50%以上
管理・監督職に占める 女性の割合	12.6%	20%以上



▲福利厚生施設（食堂）のリニューアル



▲東京営業所の移転



▲本社事務所等改装



©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

持続的な社会の実現に向けて（SDGsへの取り組み）

小松マテーレグループでは、2021年より、これからの持続可能な社会の実現（SDGsの実践）のため『小松マテーレ・サステナビリティ・ビジョン』として、2030年に向けて次の5つの項目の取り組みを推進しています。



1 気候変動対策



2 循環型社会づくりへの貢献



3 人々の感動の創造



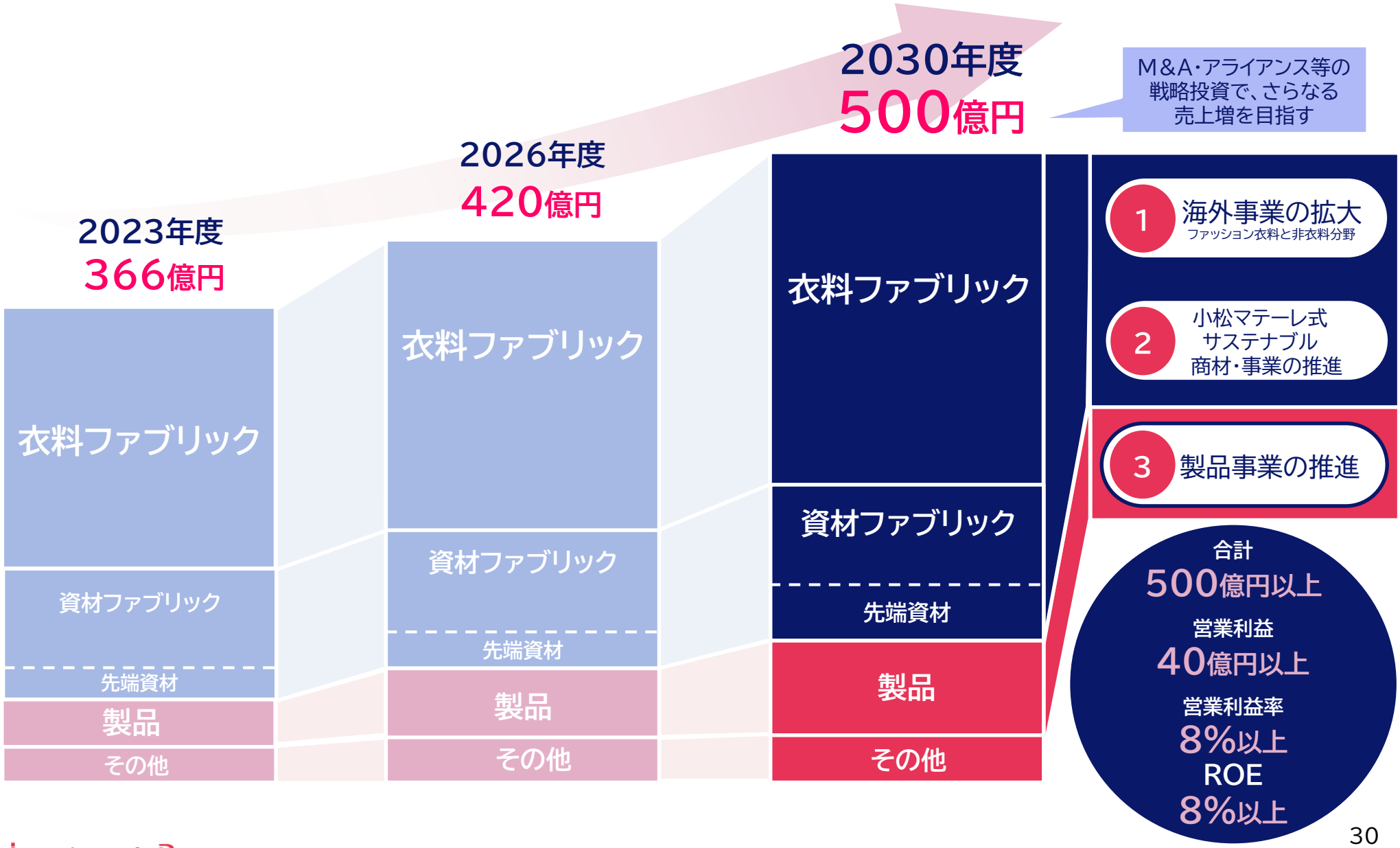
4 防災・減災への取り組み



5 地域貢献と社員の成長

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

Ⅳ-6. 中期経営計画 「長期構想 将来事業イメージ(2030年度)」



©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

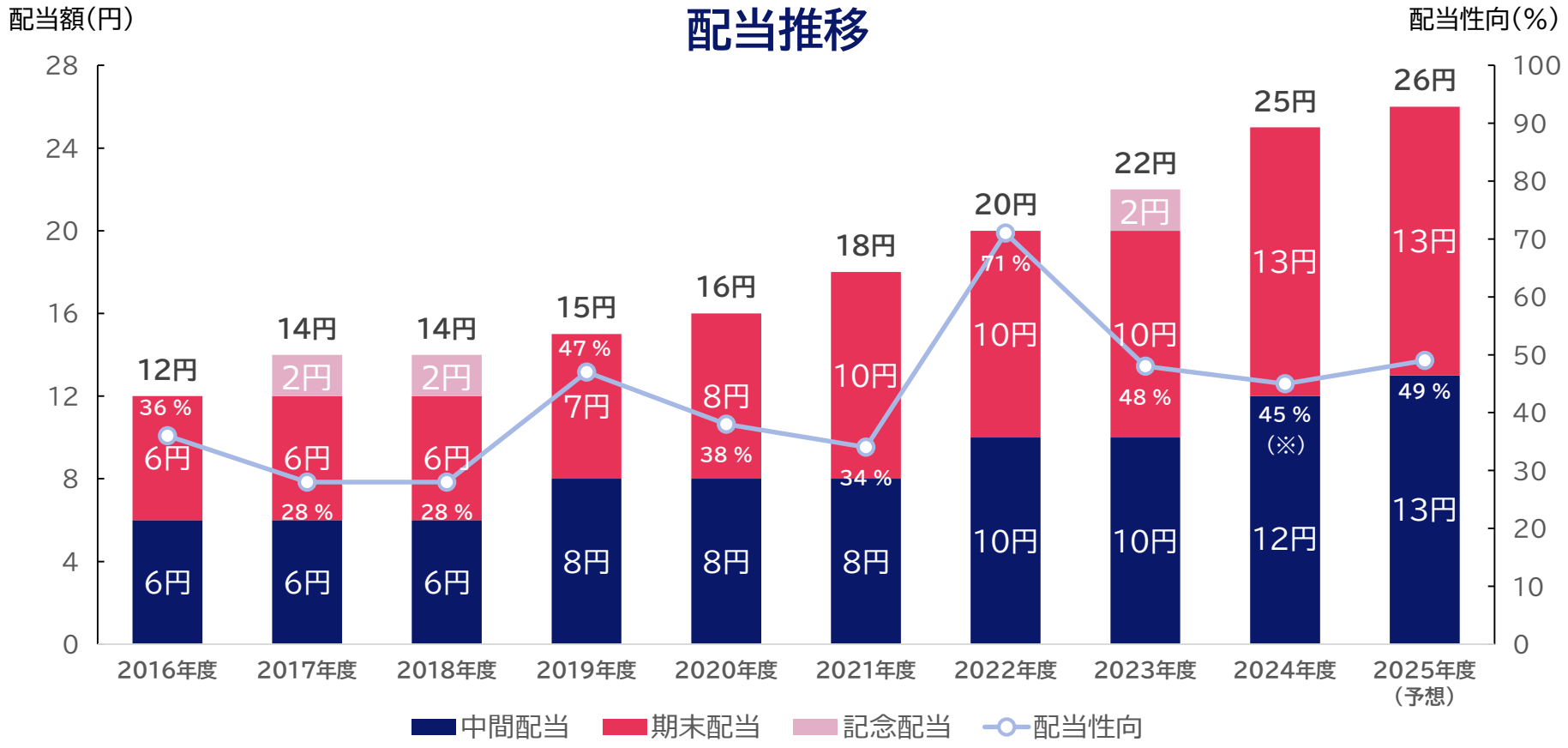


Ⅴ. 株主還元

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

V-1. 株主還元　「剰余金の配当について」

- 当社は、株主に対する利益還元を重要課題のひとつとし、安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としております。
- 2024年度からは、配当性向について当期純利益の**40%以上**を目安としております。
- 10年間減配せず安定的な配当を実施。また、**6年連続増配**しており、今期も増配を見込んでおります。



(※) 特益要因を除く。特益要因を含む配当性向は34%

©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

V-2. 株主還元　「配当利回りと株価の推移」

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度（予想）
年度末株価	973円	1406円	691円	775円	786円	777円※
配当	16円	18円	20円	22円	25円	26円
配当利回り	1.6%	1.2%	2.8%	2.8%	3.1%	3.3%※

※ 8月28日(木)終値



©KOMATSU MATERE Co., Ltd.

本資料中の業績予想、見通しについての記載は、現時点における
将来の事業環境・経済状況等の仮定・推測に基づいています。
実際の業績は様々な要因の変化により、これと異なる結果となる
可能性があることをご理解願います。

Art in Technology
komatsumateRe